

## 施設の理念

ハート❤️ &スマイル 😊  
あふれる輪を大切にしま  
す。

# 雪椿の舎

令和6年6月28日

## 雪椿の舎に思いを寄せて

施設長 田邊 寿夫

6月1日より施設長に任命されました田邊寿夫（たなべとしお）と申します。29年間の小学校勤務と9年間の町・村、県の社会教育行政の勤務経験を経て現在にいたっております。初めての福祉施設での勤務ですが、利用者の皆様の安全・安心を第一に考えながら、保護者の皆様からも信頼される事業所になるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

ところで、私はこの事業所の名称「<sup>ゆきつばき</sup>雪椿<sup>いえ</sup>の舎」を「家」でなく「舎」にしたのはどうしてなのかと疑問に思い、いろいろな方に尋ねてみたのですが、分からないようでした。ますます疑問が膨らみ、過去の新聞の切り抜きを読んできました。すると「第二のわが家」の見出しが目に飛び込んできました。雪椿の舎は、家庭生活が中心になりがちで社会に出る機会の少ない方に、家から通いながら社会復帰につながる訓練をすることを目的に設立した事業所であることを知りました。設立されるまで17年間もかかったことから、本当に先人の皆様が苦勞されてできた事業所であることが分かりました。

先人の皆様は、「保護者・ご家族のいる場所は、利用者の皆様の本当の『家（いえ）』であるなら、それとは違うけれど家庭のぬくもりを感じられるような温かい雰囲気を出し出す事業所になってほしいという願いから「舎」という漢字にして『いえ』と読んだのではないか」と推察しました。

私は、この雪椿の舎に集う人たちは、利用者とそこにご家族、そして職員すべてを「雪椿の仲間」と呼んでいきたいと思えます。雪椿の舎は、小さなグループです。けれどもここに集う人のみならずすべての人が笑顔で生活できる社会を実現していくために心を一つにしてがんばってまいります。

また、大切なご家族をお預かりしています。当たり前のことですが、利用者の皆様が怪我や病気をすることなく、元気な姿でご家庭に戻られ、社会の一員として豊かに暮らしていけることが雪椿の舎の役目と思っております。

（裏面もご覧ください）

## 避難訓練を実施しました

6月24日(月)に第1回目の避難訓練を行いました。消防法で年2回以上の訓練が義務付けられていますが、今年初めての避難訓練でした。まずは避難経路を確認し、避難場所まで、利用者の皆様に協力して避難することを大切に実施しました。

VIPの駐車場まで、全員が避難完了するまでの時間は7分でした。車椅子の方や足の不自由な方もいる中で避難しての7分は素晴らしいことです。私は、利用者の皆様に、「①自分の命は自分で守ること ②「おはしも」の合い言葉の確認 ③他人の命も大切であること」の3つを話しました。手をつないで避難を手伝ってくれている利用者さんの姿が見られ、心温まる光景に感銘を受けました。皆で手を取り合って雪椿の舎の仲間の命をこれからも守っていきます。



## 手をつなぐ育成会総会が開かれました

6月15日(土)に加茂市手をつなぐ育成会の総会が「ゆきつばき荘」で開かれました。昨年度の事業報告及び決算の承認がされました。その後、令和6年度の事業計画と予算案の説明が行われました。また、今まで理事長を務めていただきました関川博純さん、前施設長名古屋利夫さん、蝶名林公江さんが理事を退任されました。なお、蝶名林さんは、理事は退任しますが、雪椿の舎の職員として勤務しますので、よろしくお願ひします。

### 令和6年度理事の皆様

理事長	皆川 栄子	理事	小林 淳
副理事長	佐野 正	理事	田邊 寿夫
理事	山口 昇	監事	藤本 準一
理事	横山 泰	監事	三浦 伸一



### 資源ゴミ回収にご協力をお願いします



新聞紙



雑誌



段ボール



アルミ缶



※回収された資源ゴミの収益は、利用者の皆様の工賃として還元いたします。